

## ■ 設計・施工時の注意

- 本製品はせっこうボード壁・壁の入隅部専用の製品です。それ以外（壁・天井の入隅部など）には使用できません。
- クロス仕上げ以外の壁（塗り壁など）には使用できません。
- 本製品は木下地に固定する「**釘施工**」と、せっこうボードやせっこうボード上の壁紙に固定する「**接着施工**」の、2通りから選択できます。  
**釘施工の際は必ず木下地に固定してください。接着施工の際は木下地は必要ありませんが必ず指定の接着剤をご使用ください。**
- **ボードの表面紙や壁紙に、はがれ、浮き、汚れ、ほこり等がある場合は必ず除去してください。**  
**また壁紙に、よじれ（しわ）による段差がある場合も必ず除去してください。製品ズレや接着不良の原因となります。**
- 保管の際は、直射日光を避けて平らな場所に平置きしてください。立て掛けると製品が変形するおそれがあります。

## <釘施工（木下地がある場合）> ※木下地が無い場合は接着施工してください。

### ■ 必要工具・部材 ※現地調達

【工具】のこぎり、穴あけドリル（Φ3）、かなづち、ポンチ、カッター

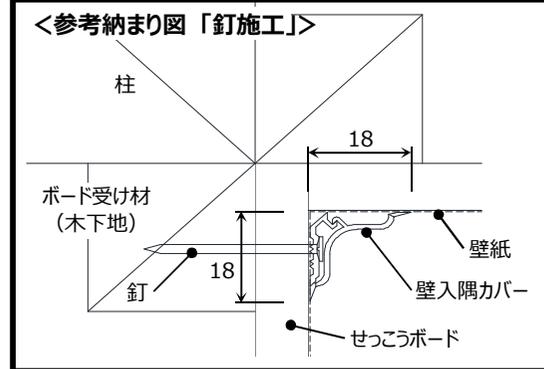
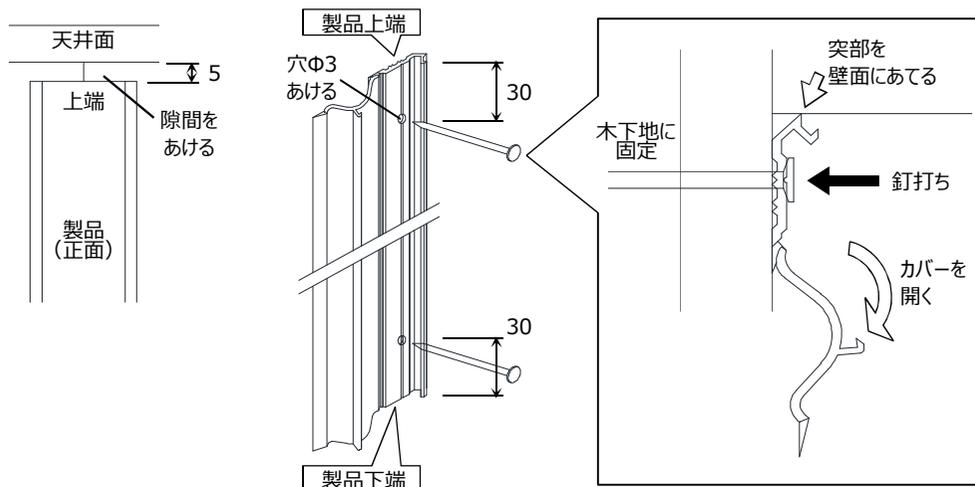
【部材】平頭の丸釘（#15×L32mm）※製品1本2,400mmあたり釘9本必要

### ■ 施工手順

#### 1. 壁面への固定（※釘は必ず木下地に固定してください）

- 現地の天井高さより**5mm短めに長さカット**する。
- 長さの両端部（上端と下端）から30mmの位置にΦ3の穴をあける。
- **天井面と上端の間に5mmの隙間をあけ**（下端部は突付け）に入隅部に設置する。  
※製品の伸縮を逃がすため必ず隙間をあけてください。あけないと釘ピッチ間で製品がたわみます。
- **突部を壁面にあて**、カバーを開いて手で押さえながら、300mm間隔で開いている穴を狙って釘打ちする。上端と下端の穴にも釘打ちする。

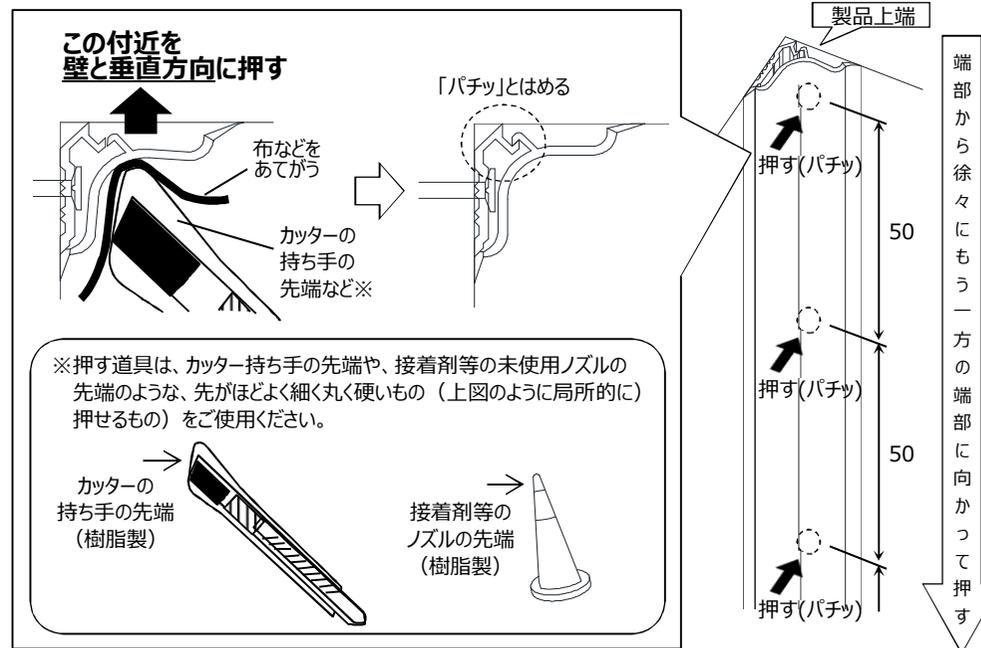
**釘打ちのコツ** せっこうボードに釘を刺しておく、後の釘打ちが楽になります。  
最後の打ち込みにポンチを使うと、釘浮きなく、しっかり固定できます。



#### 2. カバーをはめる

- カッターの持ち手の先端などで押してカバーをはめる。**（はまると「パチッ」と音が鳴ります）**  
※音が鳴らないときはカバーがはまっていないので、**音が鳴るまで押してください。**

**はめるコツ** **端部から徐々にもう一方の端部に向かって**、約50mm間隔で押しはめます。  
※必ず端部から押してください。端部以外から押しはまりません。  
※製品に傷や汚れが付かないよう、製品に柔らかい布などをあてがって押してください。



## <接着施工（木下地が無い場合）> ※木下地があっても接着施工は可能です。

■ 必要工具・部材 ※接着剤は指定品をご使用ください。それ以外は現地調達。

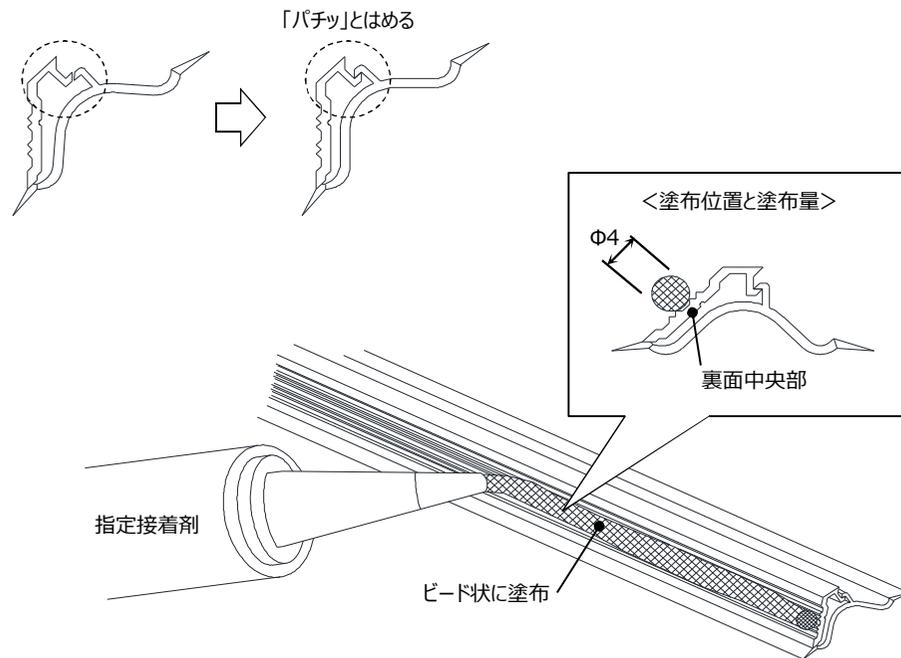
【工具】のこぎり、シーリングガン（接着剤塗布用）

【部材】指定接着剤 ※接着剤容量333mlあたり製品2,400mm×約10本分が目安養生テープ

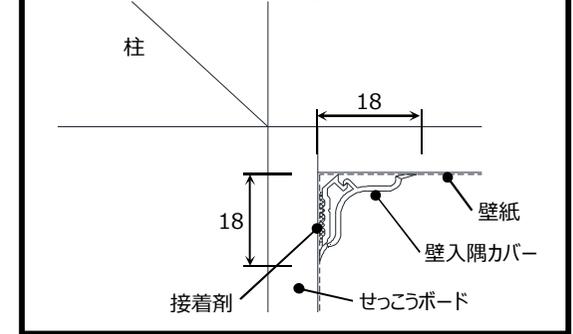
### ■ 施工手順

#### 1. 壁面へ固定するまでの準備

- 現地の天井高さより**1mm短めに**長さカットする。
- あらかじめ、手でカバーをはめておく。**（はまると「パチッ」と音が鳴ります）**  
※音が鳴らないときはカバーがはまっていないので、**音が鳴るまではめこんでください。**  
※端部から徐々にもう一方の端部に向かうとはめやすいです。
- 製品裏面の中央部にビード状に接着剤を塗布する。（塗布径Φ4）



### <参考納まり図「接着施工」>



#### 2. 壁面への固定

- **天井面と上端の間に1mmの隙間をあげ**（下端部は突付け）に入隅部に設置する。  
※製品が天井面や幅木に突っ張らず施工しやすくするため、必ず隙間をあげてください。
- **突部を壁面にあて、接着剤をつぶすように入隅部に圧着し**、養生テープを約300mm間隔で貼り付け、接着剤が硬化するまで固定する。（テープ数量目安：製品長さ2,400mmあたり9枚）  
※完全硬化時間は23℃・50%RHで約1～2日後です。（詳細は接着剤裏面のラベル参照）  
※硬化後にテープをゆっくりはがしてください。尚、室内環境によりますが、約2時間である程度接着します。その接着具合を確認した上でテープをはがすこともできます。その際は壁面から製品が外れないよう、製品を手で押さえながらゆっくりテープをはがしてください。

